



住み続けたい理由は ① 通勤・通学に便利、 ② 昔から住んでいる、③ 緑や自然が多い ～港北区区民意識調査の結果がまとまりました～

港北区では、区制70周年を迎える区のこれからの施策策定や、「第2期港北区地域福祉保健計画」の基礎資料として活用するために、平成20年11月から12月に、平成16年以来4年ぶりに区民意識調査を実施しました。

このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

■調査の概要

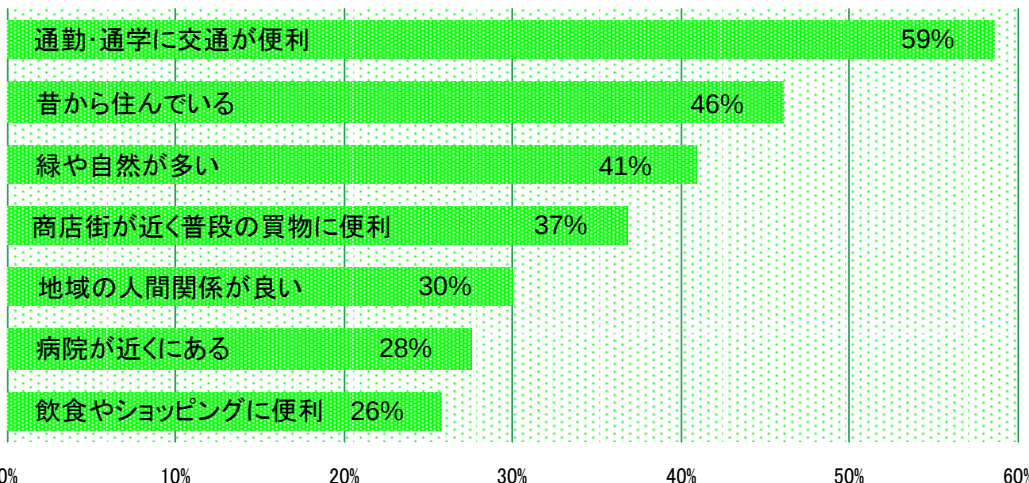
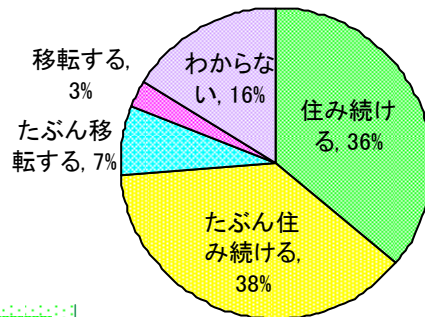
◇対 象	区内在住の満18歳以上の方4,000人 (住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出)
◇調査期間	平成20年11月から12月
◇調査方法	郵送による配布・回収
◇回 収 率	59.0% (2,362件) (平成16年度回収率 53.6%)

■主な調査結果

Q これからもずっと港北区内に住み続けようと思えますか？

Q 住み続けたい理由は？(複数回答可)

「住み続ける」「たぶん住み続ける」を合わせると、74%の人が、これからも住み続けると答えています。交通や普段の買物、病院などの利便性、長く住んでいることや人間関係など地域への愛着・親しみ、緑や自然が多く環境がよいことなどが住み続けたい理由の上位になっています。



港北区キャラクター
ミズキー

【参考】平成20年度横浜市民意識調査では「これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか？」との問いに、「住み続ける」「たぶん住み続ける」と答えた人が、61%でした。

裏面あり

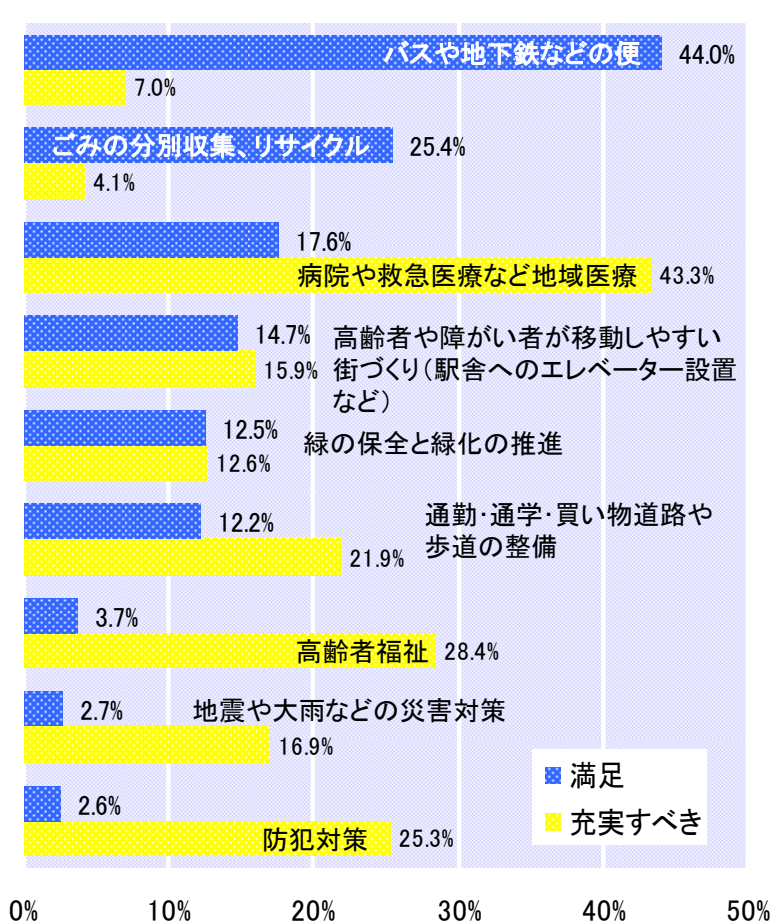
Q 行政のサービスや業務について満足しているもの（3つまで選択可）

Q 今後、行政が充実すべきだと思うサービス（3つまで選択可）

満足度が高かったのは、「バスや地下鉄などの便」や、「ごみの分別収集・リサイクル」などでした。「地域医療」は、満足度で3位、充実すべきものでは第1位で、関心の高さがうかがわれました。「行政が充実すべき課題」を、前回の区民意識調査（平成16年度）・市民意識調査（平成20年度）と比較すると、順位は違いますが、上位5位の項目はほぼ同じでした。

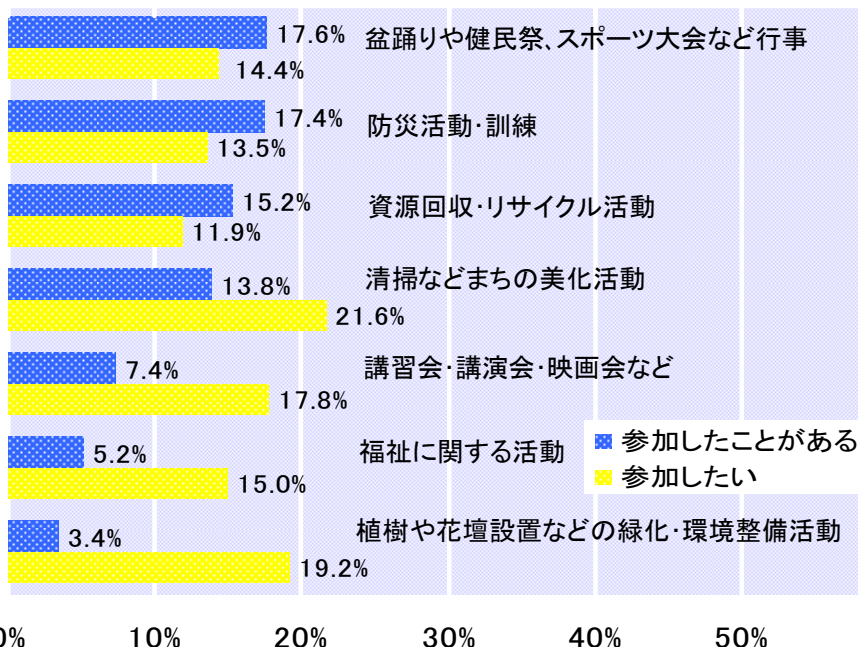
行政が充実すべき課題

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査	地域医療	高齢者福祉	防犯対策	道路歩道整備	地震災害対策
前回調査（H16年度）	防犯対策	地域医療	地震災害対策	高齢者福祉	道路歩道整備
市民意識調査（H20年度）	地域医療	地震災害対策	高齢者福祉	防犯対策	ごみの不法投棄対策や街の美化



Q 3年以内に参加した地域活動・ボランティア（複数回答可）

Q 参加してみたいと思う地域活動・ボランティア（3つまで選択可）



参加したことがあるものは、盆踊りやスポーツ大会などの行事、防災活動・訓練、資源回収・リサイクル活動などが上位でした。一方、参加してみたい活動としては、まちの美化活動や緑化・環境整備活動などが上位でした。



1月に行われた港北駅伝大会

今回の区民意識調査では、このほか「防犯」「防災」「地域での交流」「健康」「環境」などについてお聞きしました。

全体の調査結果は、4月1日以降、港北区ホームページ（<http://city.yokohama.jp/me/kohoku/suisin/kikaku/tyousa20>）でご覧いただけます。

また、区役所企画調整係や港北図書館などでも閲覧できます。

添付資料：平成20年度港北区区民意識調査報告書（概要版）